

I 学期学校訪問から学んだこと⑥

# タイムマネジメントの落とし穴

各市教委やそれぞれの学校、そして皆様一人一人が働き方改革を推進しているおかげで、ここ数年で超勤はかなり減りました。しかし、「持ち帰り仕事が増えた」「大切な協議も時間が来れば終了となり不安を感じる」「時間がきたら帰る人と、できるまでやる人との意思疎通が難しい」等新たな課題も生じているようです。今後は、「時間を管理」する事が目的とならないよう、「最優先事項を優先する」という「行動の順序」についての理解が必要だと感じました。

## 「緊急でないが重要なこと」が成長に繋がる

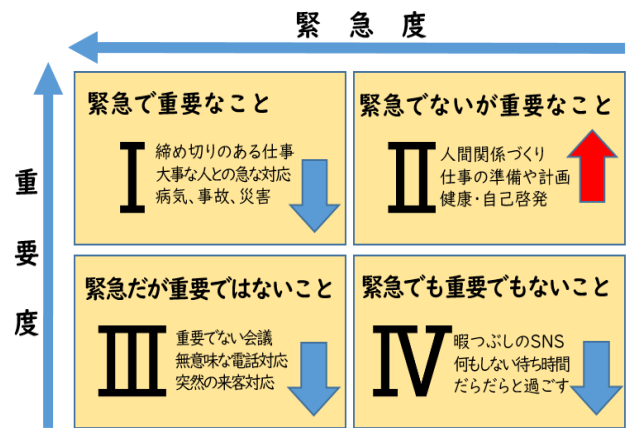
右の図は、活動を緊急度と重要度の4つの領域象限で分けたものです。計画性の無い私は、緊急で重要な第I領域の事柄に常に追われています。そのような、時間に振り回される日々を過ごすので疲れが貯まり仕事の質が下がります。そして、どうでもいい第IV領域に逃げ込んでいます。

成功している人（組織）は、第II領域に時間をかけていますね。人間関係づくりや、家族の絆に関する事柄、将来第I領域に入ってくる事柄の準備等、仕事やプライベートもやりがいを感じるものを大切にしていますね。働き方改革を行う目的は、そのような時間を確保することであり、そのために他の3つの領域の内容を見直すことだと思います。

見直すときは、先ず第I領域と考えた事柄でも、第IIIやIVの領域の（重要でない）ものは無いかを確認します。次に、第IIIやIVの領域については、無くすものや他に任せられないかを検討しています。これまで教職員が行っていたことも、子ども達を信じて任せることで、子ども達が成長できることもあると思います。他にも、ルールを決めたり、対応のマニュアル化や書式のフォーマット化をしたりする工夫も考えられます。



ただし、各領域についても人によって考えが異なります。（私のおしゃべりは、私は第II領域と書いていても周りからすると第IV領域だったりして・・・）だからこそ、話し合うことは大切ですよね。その際の判断基準が、最上位の目標である「目指す子ども像」や、「学校で育成を目指す資質・能力」となるでしょう。



## あなたの役割は、そして目標は

私は、職業としては県職員（所長）ですが、家族からみれば、夫、父親であり、親類では叔父です。また、近所のおいちゃんであり、趣味の世界では弟子であり、授業サークルでは顧問であり、友達からみれば友人であり・・・と、いろいろな役割をもっています。もちろん仕事は大切ですが、それぞれの役割における目標が達成することで、自分自身が磨かれ、周りからの信頼が得られ、自分の人生が充実すると考えています。（実際は右の役割②③④はほとんどできていません。①も怪しい）

「7つの習慣」の著者であるスティーブン・R・コヴィー氏は、「自分の葬儀の場をイメージしてみたい。そして、弔問客たちに、あなたの人生をどのように語ってほしいか深く考えてみてほしい（第2の習慣）」と、自分の人生の最後を思い描き、それを念頭において今日という一日を始めることが大切であると言っています。働き方改革は意識改革とも言われています。改めて、自分の役割の優先事項を考えてみませんか。

役割	目標
役割① 役職（仕事）	学校訪問分析、通信作成
役割② 夫、父親	家事、草むしり、家族で食事
役割③ 息子	実家の片付け、墓掃除、病院の送迎
役割④ 地域奉仕	PTA活動、地域の祭り、除草作業
役割⑤ 楽しみ・健康	趣味を楽しむ、自己啓発研修に参加、検診

↓ 予定を埋めていく